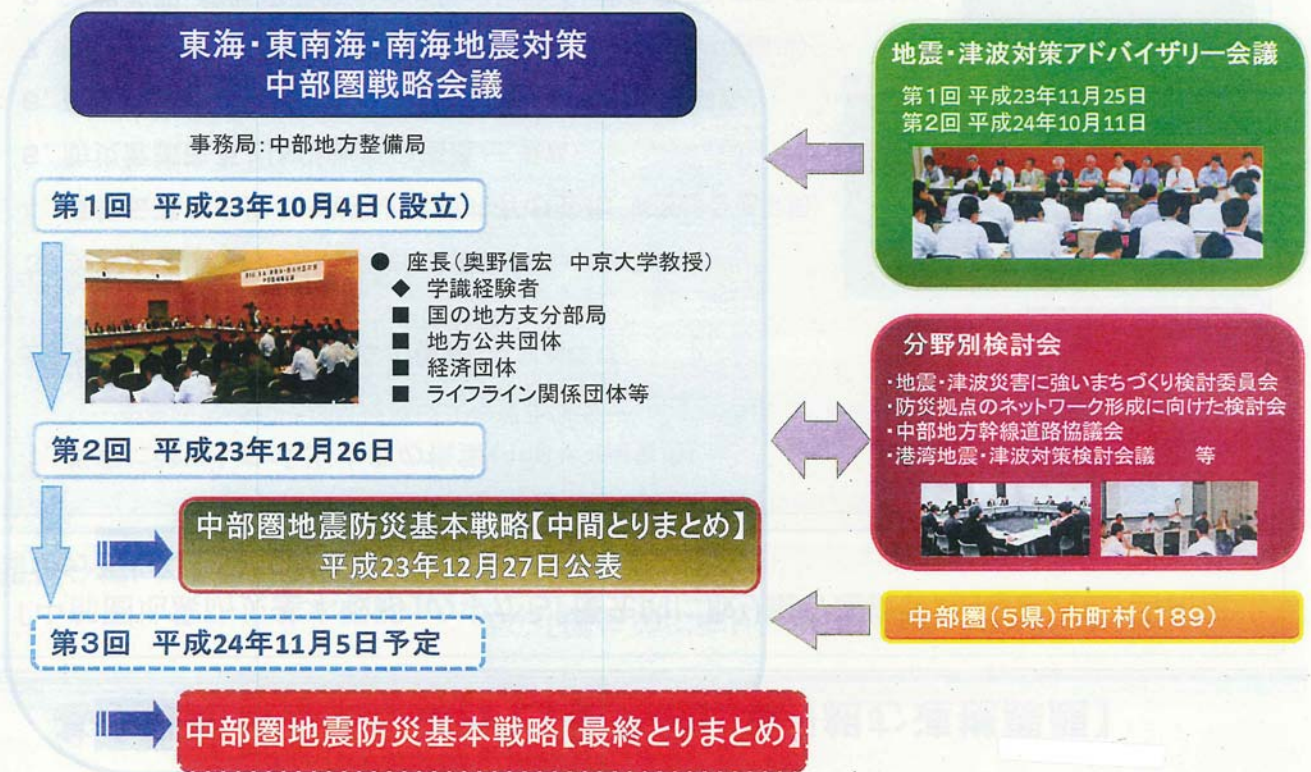


広域的な防災に関する取り組み事例

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議の概要

東日本大震災を踏まえ、運命を共にする中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界等が幅広く連携し、東海・東南海・南海地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を「中部圏地震防災基本戦略」として協働で策定し、フォローアップしていきます。



基本戦略の推進に向けて【優先的に取り組む連携課題】

「中部圏地震防災基本戦略」の中から「優先的に取り組む連携課題」を選定し、関係機関が分担して具体化を図る。

1. 災害に強いものづくり中部の構築（中部経済産業局）
～企業防災・減災と地域連携BCPの普及促進～
2. 災害に強い物流システムの構築（中部運輸局）
～多様な輸送モード・ルートの検討等～
3. 災害に強いまちづくり（中部地方整備局）
4. 情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化（東海総合通信局）
5. 防災意識改革と防災教育の推進（三重県）
6. 確実な避難を達成するための各種施策の推進（静岡県）
7. 防災拠点のネットワーク形成に向けた検討（中部地方整備局）
8. 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定（中部地方整備局）
9. 災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備（中部地方環境事務所）
10. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施（中部管区警察局）

※（ ）内は、幹事機関

